

令和3年3月

学校評価 公表シート

1 本園の教育目標

建学の精神にのっとり「躰に重点を置き、心身ともに健全で情操豊かな子ども」をめざす。幼児一人ひとりが自信をもって、明るく楽しく落ち着いて生活し、生きる喜びをもてるような教育活動を行っている。

- ① 明るく、楽しく、友だち同士仲良くできるように計画し、指導する。
- ② 幼児の能力や性格などを伸ばすように、教育研究と指導実践の両面を進めていく。
- ③ ふだんから健康衛生に対する関心を高め、実践を通して習慣化していく。
- ④ 集団の中での規律、友愛、礼儀作法が身につくようにする。

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

より質の高い教育を提供し、園児たちの健全育成を達成するために、新型コロナの感染対策を実施しながらどのような点に配慮しながら教育・保育を展開していくか。

3 評価項目の達成及び取組内容

評価項目	取組内容
1 コロナ禍での保育や行事の進め方	コロナ禍の中、日常の保育や行事をどのように進めていくか ・一斉休園時の保育の提供（YouTubeによる動画配信） ・中止か、実施するか ・人数制限、時間短縮、分散、間隔、換気
2 コロナ禍における感染対策の取組み（環境づくり）	感染しない・させない環境づくり（ハード・ソフト面）をどのように進めていくか ・消毒、換気、抗菌・抗ウィルスの実施 ・感染者の発生した場合の保護者への報告、情報開示
3 コロナ禍における教職員の仕事方	働き方改革をどのように進めていくか ・オンラインや動画配信による情報交換・情報共有・在宅研修

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

1 コロナ禍での保育や行事の進め方

年度始め「緊急事態宣言」を受けて、4月と5月中旬まで一斉休園となった。そのため、その間各家庭の園児・保護者向けに動画配信（YouTube）を実施した。開園後、4・5月の行事（学園説明会や才能教育説明会、ひまわり総会、給食試食会、母の日参観、親子遠足）のほとんどは中止となったものの説明会関係はPDFなどのデジタル紙面報告で行い、「母の日参観」は6月の「家族参観」に組み込んで実施した。

また、年長園児の「お泊まり保育」は園での宿泊に変更したが、7月末の感染拡大に伴い、日帰りによる「スペシャル遠足」に切り替えた。運動会は屋内施設（枇杷島スポーツセンター）に変更し、種目数を減らして時間短縮を図り、人数制限を設け観覧席も間隔を空けて指定席にして行った。「生活発表会」も、ほぼ同様の措置をとってウィルあいちで実施した。「敬老会」は参加人数を一人に制限して行い、「展覧会・ひまわり祭」は、展覧会（作品展）のみ実施し、観覧の時間帯を決め、密集を避けた。毎月の「誕生会」は、年長の保護者のみ講堂で実施し、その他の学年は各教室で行い、そ

の様子を動画配信した。「クリスマス会」や「節分会」、「文化芸術体験教室」も密を避ける方法で進めた。今回、やむにやまれぬ状況で分散したり短時間にしたりしたが、園として行事の意義や意味を考えさせられた。もし、コロナがなければ今までのやり方を踏襲したであろう行事も違った視点から見直すことができ、分散形式や動画配信など今年度の進め方を今後継続するものもあると考える。

2 コロナ禍における感染対策の取り組み（環境づくり）

本年度は、特に新型コロナ感染症にどのように対応するかが大きな課題でもあった。

まず、ハード面では、教室の換気をするためサーキュレーターや空気清浄機の稼働、プレイルームでのイオン発生装置の設置、園バスや園庭遊具の光触媒施工など、抗菌・抗ウイルス施工を実施してきた。一方、ソフト面では園児や保護者、教職員に感染者が出た場合の対応について、どのように情報開示していくべきかを公立小中学校や他の幼稚園などから情報収集を行った。その際、保健所と連携を取り、指導助言を受けながら進めていくが、できるだけ教育・保育活動に影響や保護者の混乱が生じない方法や対応を実施していく必要性を感じた。

3 コロナ禍における教職員の働き方

今年度、コロナの影響でICT化が加速した。まず、Wi-Fi工事を行い、園内のどこでもネットの接続できる環境を整えた。また、5月の在宅勤務期間中では、オンラインで朝礼・終礼の実施、研修資料（動画・PDF）の配信、外部とZOOMを使用したオンライン研修を行ってきた。これによって教育・保育の質向上をさせつつも業務の時間短縮など一定の効果が見られた。来年度は、各担任1台ずつタブレットを持ちながら業務に携わることも検討している。

コロナが収束した後もこれらのノウハウを活かしつつ、「働き改革」の視点からもICT化をさらに進めていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
1-①保育者の指導力・保育力向上	動画を活用するなど研修の内容および進め方を考える。
1-② 「働き方改革」の推進	教職員の職場環境や労働条件・待遇改善を進める。（時短や事務量の軽減）
1-③ 保護者理解と保護者対応	園の方針や教育・保育活動をさらに理解していただくためにはどうするか、逆に保護者の気持ちを理解するにはどうするかを考える。

6 学校関係者の評価

- 先生方は、一人ひとりの園児たちをしっかりと見てよく指導している。やはり教育でもチーム力が大切でよく連携がとれていると思う。小学生以上に基本的な生活面の活動が多く、指導の大変さが分かった。小学校でも活かしていけるよう頑張りたい。
- 日課・音感教育を参観したが、先生の話聴こうと全員集中して聴いていた。準備の時も、私話もせず、すばやくできていた。トイレのスリッパもきれいに並んでいた。
- 体力アップ（西幼サーキット）も自ら意欲的に取り組んでいて、ふだんから運動への意識を高めてくれていると感じた。楽しくやっていると見ている方も嬉しい。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。